

モニタリング方法 (効果の確認方法)の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・[調査内容] アマモの発芽状況 ・[調査時期・頻度] アマモ発芽時期(1月頃) ・[調査場所] 播種場所 ・[モニタリング方法] 播種数の算出、潜水・目視による発芽状況の調査
取組による効果・ 影響及びその判断 基準等	<p>昭和60年には12haまで減少していたアマモ場は、平成27年には約250haに回復している。</p> <p>また、近年は、漁業者以外だけでなく消費者やNPO、地元中学生等と一緒に活動することでアマモ場の重要性を一般消費者にも啓発しながら事業を実施している。</p>
モニタリング結果 の活用方法	発芽状況の調査結果を踏まえ、播種時期や種取り時期、播種場所を検討する。
現状での課題	
今後の予定等	引き続き本取組を行い、アマモ場の拡大に努める。
取組事例について の発表資料等	
情報提供元	岡山県環境文化部環境管理課